

# 雪の季節到来 除雪はみんなの協力で



今年は、冬の訪れが少し遅めだといわれてはいますが、酷暑の夏がうそのように、寒さが日増しに厳しくなっています。十一月十三日には市内へも初雪が降り、冬將軍の到来が告げられました。これから始まる長い雪の季節へ向けて、準備は万全ですか？

市では、冬道の安全を確保し、快適な生活を保つため、十二月一日に除雪対策本部を設置して降雪に備えています。

## 除雪車両

### 94台を配置

この冬、市が除雪を担当する路線の総延長は四百四十八キロメートル。市道三百八十九キロメートル、歩道三十一キロメートル、私道二十八キロメートルという内訳です。昨年度と比較すると全体で十六キロメートル延びています。

除雪車両は九十四台を配置。グレーダーやロータリーなど市所有のものが十三台、民間からの借り上げ車両が八十一台です。昨年度より七台増やし、よりきめ細かな

除雪に努めます。また、市所有車両の中には、昨年度から仲間入りをした融雪剤散布車も含まれています。この車両は、坂道などでのスリップの未然防止に威力を発揮しています。

路面の凍結や積雪が交通事故や交通渋滞の原因になったり、積もった雪が溶けた後の泥水などが歩行者の通行の妨げになったりと、冬道はドライバーにとっても歩行者にとっても危険で不快なもの。冬道を安全で快適に保つためには、しなければならぬことがたくさんあります。道路や歩道に積もった雪を迅速に取り除くことはもちろん、わだちの発生を防止・解消することや、凍結して鏡のようになった路面に融雪剤を散布し、スリップ事故を防止することなども、スタッフドレスタイヤが常識となった今日では欠かせません。

刻々と変化する気象条件や交通事情に対応した、きめの細かい除雪体制が求められています。市では各種除雪車両の機動力を最大限に生かし、また、除雪に携わる係員も常に除雪区域をパトロールし、気象情報の収集に努めながら、二十四時間態勢で降雪に備えます。

## 主要幹線から順に

### 除雪します

雪が積もると、皆さんは「除雪車はいつ来てくれるんだ？」と考えることでしょう。除雪作業は国、

県、市が分担して行っていて、国が国道を、県が県道を、市が市道を担当しています。市では、雪の降り具合や気象台から出される気象情報をもとに、降雪量が五センチを超えて、引き続き降雪が予想される場合に除雪車両を出動させています。作業は、通常午前三時ごろから開始します。交通量の多い主要幹線やバス路線、通園・通学路など緊急性の高い道路から順に除雪し、通勤や通学などに影響が出ないように配慮しています。交通の妨げにならないよう、午前七時三十分ごろの終了をめどにしていますが、降雪時刻や降雪量によっては昼夜を問わずに作業します。降雪状況で、地域によってはどうしても作業が遅れてしまう場合もありますので、あらかじめご了承ください。

「我が家の前の道路には、除雪車が来ないのですが、どうしてでしょう？」という声を聞くことがあります。そういつた道路は、多くの場合私道です。市では、私道、特に住宅に接する生活道路や集落間の連絡道路、小路もできる限り除雪していますが、私道の中には、除雪車が入って行けるだけの幅がない道路や、進入できても雪を積み上げるのに適した場所がないこともあります。そのため、作業が困難と思われる小路では、やむを得ず除雪を見合わせていることがあります。市が指定してい